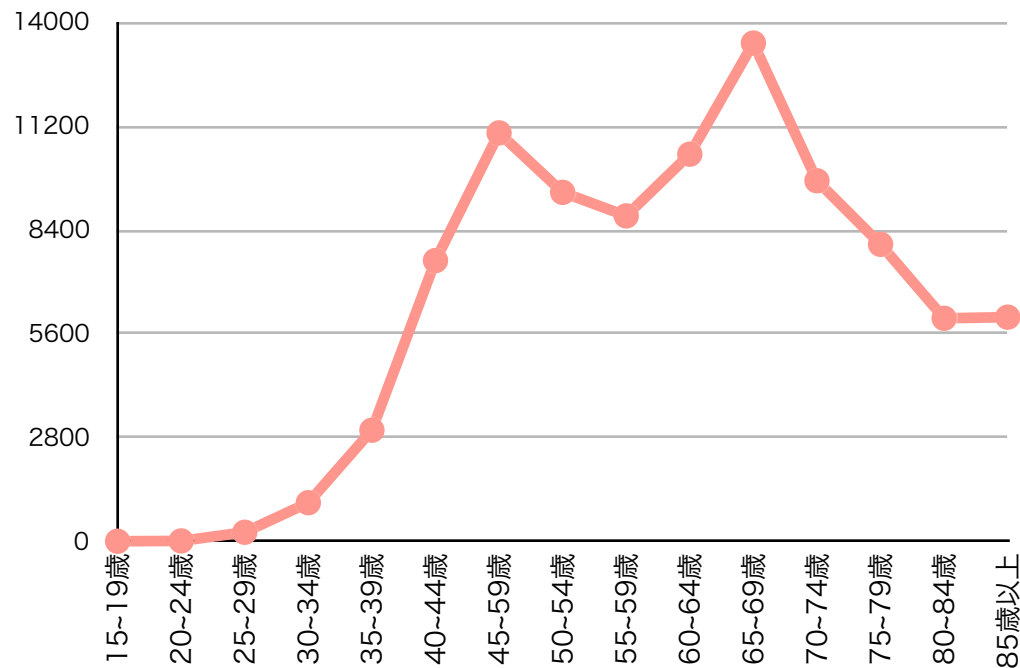


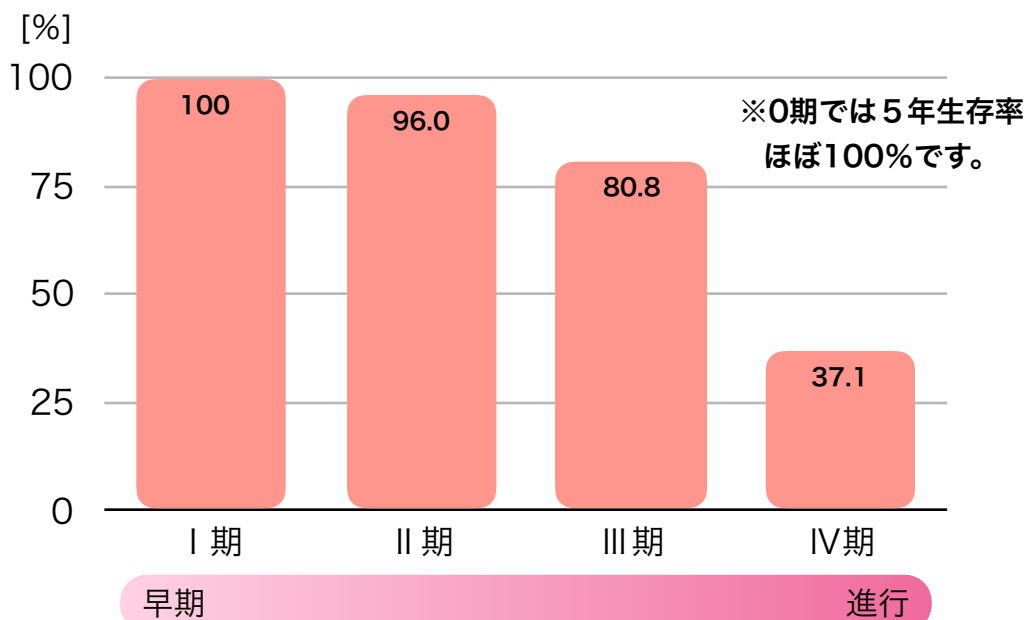
受けよう！乳がん検診

乳がんは女性のがん罹患率第1位

[人口10万対]



厚生労働省人口動態統計 年齢階級別乳がん罹患数(2016年発表)



全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率(2017年発表)

日本人女性の**11人**に**1人**が生涯のうちに乳癌になると言われています。乳がんは**30代**から増え始め、**40～60代**がピークですが、女性であればどの年代の方でも発病のリスクがあります。

以下の項目に当てはまる方は乳がん発症リスクが高まります。

- ・ 親族に乳がんになった人がいる
- ・ 初産年齢30歳以上
- ・ 出産経験・授乳歴がない
- ・ 初潮年齢が早く(11歳以下)閉経が遅い(55歳以上)
- ・ ホルモン療法を受けている
- ・ 肥満・食生活の乱れがある
- ・ 飲酒・喫煙の習慣がある
- ・ 乳腺疾患に罹ったことがある

乳がんの**死亡者数**は**年々増加**しています。

しかし、乳癌は**早期発見・治療**により**治癒率が高い疾患**です。

定期的に乳がん検診を受けることが大切です。

自覚症状がある場合は、速やかに医療機関へ受診してください。

乳がん検診について



❖マンモグラフィ

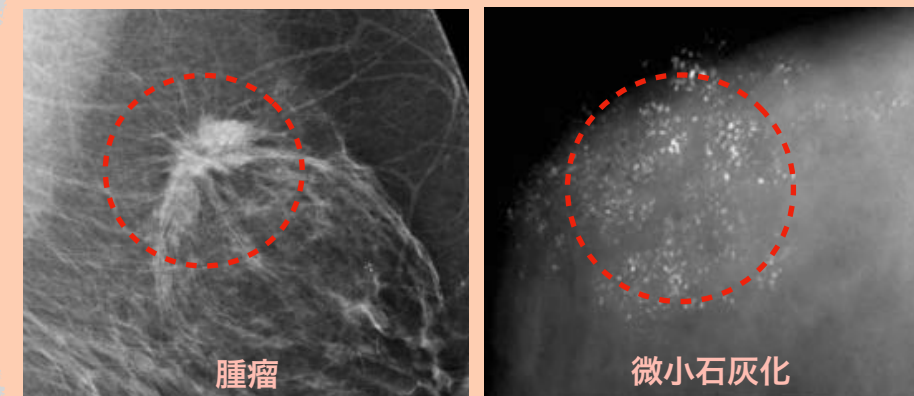
マンモグラフィは、乳がんの早期発見に有効な画像検査の1つです。触っても分かりにくい小さなしこりや早期乳がんに見られる微小な石灰化を発見することができます。また、過去の写真と比較することによって組織の微妙な変化をとらえることができます。

乳房を圧迫して撮影するため痛みを感じることもあります。月経後の乳房が柔らかい状態のときに検査を受けることをおすすめします。

圧迫によるメリット

- ・腫瘍と乳腺の重なりを少なくすることにより、病変部が見つけやすくなります。
- ・身体の動きによるボケが減り、鮮明な画像が得られます。
- ・X線による被ばくが低減します。

乳がん所見



撮影は専用の検査着を着用して行います。当院では女性技師が撮影しておりますので安心して検査を受けてください。

❖自己チェック

月に1回、自己チェックを行う習慣を身に付けましょう。自己検診は、月経後4～5日が適当です。閉経後の方は、毎月日にちを決めて行いましょう。変化に気づいた方は、速やかに医療機関を受診しましょう。

❖視触診 ※希望者のみ

医師が乳房を目で見て（視診）、手で触れて（触診）観察します。

当院は可児市・御嵩町乳がん検診実施施設です

※検診に関するお問い合わせ 東可児病院 0574-63-1200

